

業務の新聞

第12号

平成30年 1月 21日

営業関係施策の提案

昨年12月と本年1月に、「平成29年度営業関係施策（その2、その3）」が支社より提案されました。

提案理由は、

- ① お客様のご期待の実現への取組
- ② 持続的成長に向けた体制構築
- ③ グループ会社一体なった効率的体制構築

その中で、管理体制や販売体制を見直す。エルダー社員の雇用の場の確保を推進するとしています。

この間、支社との論議の成果として

- ① 異常時対応力の強化
- ② 時間外労働の厳正管理
- ③ 職場環境の改善
- ④ 教育・訓練の実施
- ⑤ 業務実態に即した業務体制の見直し

など文章が盛り込まれました。

★窓口営業時間の見直し

★管理体制の見直し

★びゅうプラザの閉鎖

★駅業務全般委託

★駅業務一部委託

など提案内容は多岐にわたります。また、実施日時も平成30年3月～12月としています。

（詳細は別紙参照してください）

提案時の論議では、

- ① バックヤードの環境整備推進
- ② 生活に関わる職場環境改善
- ③ 現実に即した業務改善
- ④ エルダー職場の選択肢拡大
- ⑤ 安全は大前提
- ⑥ 教育・連携の強化

などを確認しました。

あわせて、組合員の方々からこの間頂いた「現場の声」の認識の一致を図る論議を行いました。

職場環境改善！

昨年協力いただいた「30周年・全組合員アンケート」では、多くの方から“職場環境改善”を望む声が多く寄せられました。

『優秀な人材を確保するために』としながらも、支社として「職場環境改善」「バックヤードの整備」を進める考えにあること。“業務委託された職場”でも業務に必要な備品の整備を進める、職場での生活に必要な設備・備品も整える考えにあることが様々な場において話されています。

しかし残念ながら、“座して黙して”いたのでは『改善』は望めません。管理者の方々にも職場の隅々まで気を配る余裕がないようです。しっかりとキチンと改善すべき事柄を現場長・管理者に伝え、より良い職場を創造しましょう。

地本は、申の提出準備を進めています。皆さんのご協力よろしくお願ひします。

真摯な対応を求めます

本日まで、3月ダイヤ改正の提案がありません。聞くところでは「2月に入つてから…。」と支社は考えているようです。

「近隣支社との調整に手間取った」ダイヤ改正提案時に支社側から話される“提案の遅れ”的理由です。支社側には“改善”を求めていますが、“改善”を感じることはありません。

近隣支社では、1月中旬にはダイヤ改正提案がされました。各職場でもダイヤ改正作業は進められています。なぜ労働組合にだけ“ダイヤ改正提案”がなされないのか甚だ疑問でなりません、支社の真摯な対応を求めます。